

令和7年度 学校経営の方針

福島市立蓬萊小学校

1 基本的な考え方

- ① 地域に根ざし、子どもたち一人一人の成長を保証するために、社会に開かれた教育課程を推進し、豊かな未来につながる夢と希望を育む学校経営を推進する。
- ② 子どもが豊かなかかわり合いの中で、「社会で生きる学び」を習得するとともに自らの成長を実感し、やりたいことができる自分＝社会に貢献できる自分になることを全力で応援する学校を目指す。
- ③ 「夢と希望にむかって、みんなの笑顔あふれる楽しい学校を創る」を理念に、すべての子どもの「可能性」を引き出し伸ばす教育活動を地域や保護者、教職員が一体となって展開する。

2 教育目標

「認め合い 学び合い 高め合う 子どもの育成」

社会に貢献する人材の育成を目指し、子どもたちが他者と協働しながら、新たな学びに主体的に向かい、自他ともに高め合うことをとおして、子どもたち自ら自己実現できる力を育む。



子どもたちがもつ「可能性」を引き出し確かな成長を保証する

教職員が一丸となって「みんなを育てる」学校力

教育のプロとしての見取りに裏付けられた 個に応じたきめ細やかな支援
（「個に応じた」＝「子どもや家庭環境の実態、地域性等に応じた」）

健やかな心身を育てるための連携協働による子どもを取り巻く環境の整備

3 令和7年度 重点目標

認め合う力 ⇔ 人間関係力
◎ 学び合う力 ⇔ 主体的探究力
高め合う力 ⇔ 自己指導能力

将来にわたり「自己実現」を支えるための資質能力（上記3つ）の中で、「学び合う力⇔ 主体的探究力」の育成に継続して重点をおく。

めざす子ども像

「互いを認め合える子」
「自分の考えをもち学び合う子」
「粘り強くともに高まる子」

教育目標に照らし、将来にわたり自己実現を支える力を兼ね備えた子どもを育む。

めざす学校像

「子どもが学びと成長を実感できる学校」
「親和的で活気のある楽しい学校」
「地域に根ざし親しまれ信頼される学校」

課題意識を持ち、眼前の子どもに必要な将来に通じる力を身につけさせる。

- 自ら課題探究に向かう逞しさの育成
 - ・全教育活動における学びの集団づくりの推進
 - ・全教科にわたる主体的な学びの醸成
 - ・自己目標の醸成、粘り強さ達成感の享受
- 積極的な生徒指導の推進
 - ・自己有用感 自己肯定感
 - ・他を認め、思いやる態度の育成 連帯協働感
- 地域に根を張り、関係力の獲得
 - ・地域学習の推進→地域人財 地域教材の活用
 - ・学びの連続性をもった体験学習の推進

めざす教職員像

「地域に根ざし、子どもたちを愛する教職員」
「自ら課題を持ち、常に研修に励む教職員」
「教育公務員としての自覚と誇りを持った教職員」

教育公務員として自覚と誇りを持ち、人間性・社会性豊かな組織人たる。

- 地域性や子どもの実態に応じた教育の推進
 - ・地域特有の事情や家庭環境も含めての児童理解
 - ・愛情ある毅然とした対応
- 質の高い教職員集団「チーム蓬萊」
 - ・自己研鑽と自己啓発 セルフコントロール
 - ・指導力向上、授業改善
 - ・校務分掌の確実な遂行と創造性豊かな企画運営
 - ・リーダーおよびフォロアーシップ チームワーク
- 倫理意識の堅持、危機管理体制および組織的対応の確立
 - ・事故、不祥事の絶無
 - ・教職員としてのモラル 高い倫理観
 - ・早期発見、早期対応 未然防止
 - ・迅速な情報収集と的確な事実確認
 - ・報告連絡相談の徹底 事態終息の確認と再発防止策